

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果
～児童生徒質問紙～

児童生徒質問紙調査につきまして、小学校71項目、中学校70項目の中から特徴的な項目を抽出し、6つの観点でお知らせします。

【授業改善について】(当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した割合)(%)

		白糠町	北海道	全国
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	小学校	90.7	80.4	80.3
	中学校	70.5	77.5	77.7
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	小学校	75.0	78.5	77.8
	中学校	68.2	69.2	70.6
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。	小学校	87.5	83.8	83.4
	中学校	86.4	78.6	79.3
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか。	小学校	87.5	82.2	82.5
	中学校	68.2	73.5	74.8

授業に関する項目では、小学校の「課題解決への主体的な取組」や「学習を次に生かす意識」が全国・北海道平均を大きく上回り、主体的に学ぶ姿勢が定着していることがわかります。

一方、中学校では「自分の考えをまとめる」「学びを家庭生活に生かす」といった項目で平均を下回り、学習内容を深めて活用する力に課題が見られます。

今後は小中連携を図り、探究的な学習や表現活動の充実、家庭学習の振り返りの仕組みを強化することで、学びを活用する力の向上を目指していくことが考えられます。

【学校の先生について】(当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した割合)(%)

		白糠町	北海道	全国
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	小学校	96.9	92.3	92.2
	中学校	93.1	92.2	92.2
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	小学校	93.8	87.5	87.4
	中学校	93.2	83.6	83.8

児童生徒が「先生に認められている」「分かるまで教えてもらっている」と感じる割合が全国・北海道を大きく上回り、教師と児童生徒の信頼関係が良好に築かれていることがわかります。

今後は、この良好な人間関係を基盤に、児童生徒が主体的に表現・活用する学習場面を充実させ、小中連携を図りながら学びを生活や将来につなげる力を高めていく必要があります。

【自己有用感等・規範意識について】(当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した割合)(%)

		白糠町	北海道	全国
自分には、よいところがあると思いますか。	小学校	90.7	85.4	86.9
	中学校	84.1	85.6	86.2
将来の夢や目標を持っていますか。	小学校	93.7	82.5	83.1
	中学校	72.8	66.4	67.5
人が困っているときは、進んで助けていますか。	小学校	90.6	93.7	93.7
	中学校	88.7	90.4	90.9

「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持つ」と答えた割合が小中ともに全国・北海道平均を上回っており、自己肯定感や将来志向が育っていることが成果です。

一方で、中学校の「夢や目標を持つ」が72.8%と決して高い数値ではありません。

今後は、地域の産業や文化を生かしたキャリア教育や体験活動をさらに充実させ、将来像を描く機会を増やすことで、中学生の学習意欲と自己実現への意識を高める必要があります。

【学習習慣について】(%)

		白糠町	北海道	全国
分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできますか。 (できている、どちらかといえばできていると回答)	小学校	78.1	80.6	81.7
	中学校	75.0	75.8	77.5
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 (学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) (1日1時間以上勉強すると回答)	小学校	43.8	47.9	54.0
	中学校	45.4	53.5	61.6

小中ともに「自分で学び方を工夫できる」と回答した割合が全国・北海道を下回り、主体的な学習態度に課題が見られます。さらに、家庭学習時間についても「1日1時間以上」と回答した割合が小学校43.8%、中学校45.4%と全国を大きく下回り、学習習慣の定着が十分とは言えません。

一方で、教師の丁寧な指導や自己肯定感の高さは成果であり、学びに向かう基盤は育っています。

今後は、授業で学習方法を意識させたり、ICTを活用した家庭学習の振り返りを導入したりすることで、主体的に学ぶ力と学習習慣の両立を図ることが求められます。

【ICT 機器の活用について】(%)

		白糠町	北海道	全国
授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか。(ほぼ毎日と回答)	小学校	31.2	57.5	46.7
	中学校	65.9	62.0	53.2
あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか。(とてもそう思う、そう思うと回答)	小学校	56.3	70.9	69.3
	中学校	68.2	64.4	63.3
あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成できると思いますか。(とてもそう思う、そう思うと回答)	小学校	81.3	81.7	76.7
	中学校	77.3	81.5	76.6

中学校において「授業で ICT 機器をほぼ毎日活用している」が 65.9%と全国・北海道を上回り、実践的な活用が進んでいることがわかります。また、小中ともに「プレゼンテーションを作成できる」との肯定的回答は全国並みであり、発表力の育成されていることがわかります。

一方で、小学校の ICT 活用頻度は 31.2%と全国・北海道を大きく下回り、「情報を整理できる」項目の自信も低い状況にあります。

今後は、小学校段階から日常的に ICT を取り入れ、図や表を用いた整理や探究的な学びに結び付けることが大切です。小中連携により、活用頻度と活用力の両輪を高め、学習の質を向上させる必要があります。

【学級活動・道徳・総合的な学習の時間について】(当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した割合)(%)

		白糠町	北海道	全国
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	小学校	90.7	82.6	83.3
	中学校	84.1	83.7	84.3
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	小学校	96.9	88.3	88.0
	中学校	93.1	92.8	91.5
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	小学校	90.7	83.5	82.3
	中学校	86.3	83.1	79.5

学級活動・道徳・総合的な学習の時間のいずれにおいても、全国・北海道を大きく上回る数値を示しています。特に小学校の学級会や道徳における話し合い活動では 90%を超え、児童が互いの意見を尊重し合う姿勢や、考えを深める学習が日常的に行われていることがわかります。また、総合的な学習の時間でも、自ら課題を立てて調べ、発表する活動が高い割合で定着しています。

一方で、中学校では全国水準を上回るものの、小学校と比べて割合が低下しており、学びの主体性が年齢とともに弱まる傾向が見られています。

今後は、小学校で育まれた話し合いや探究の姿勢を中学校へ継続的につなげる小中連携の取組を充実させ、学びの主体性を発展的に伸ばすことが必要です。